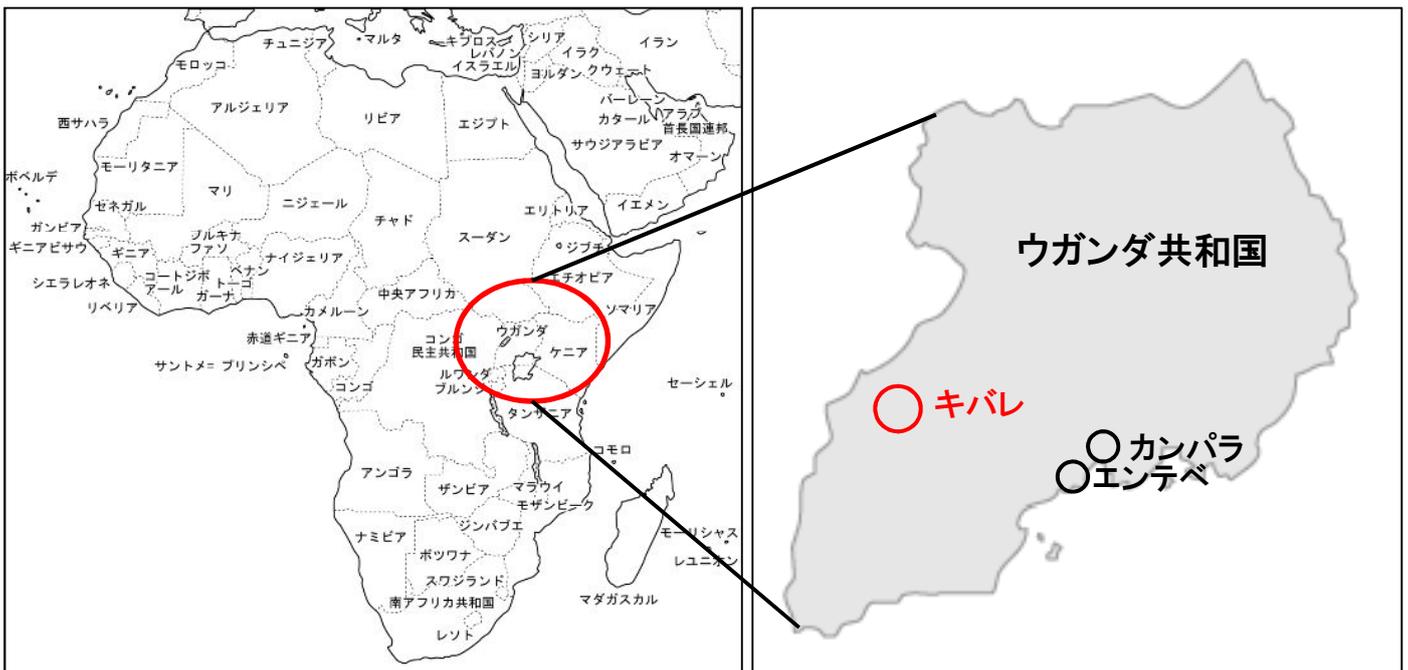


ウガンダ西部で エボラ出血熱が発生しています

WHOの情報によると、7月上旬以降、ウガンダ西部のキバレ（Kibaale）で20人の患者が報告され、そのうち14人が死亡しています（2012年7月29日現在）。



- エボラ出血熱は、ウイルスに感染した動物やヒトに接触することにより感染し、死亡するリスクの高い(25～90%)恐ろしい病気です。
- 潜伏期間は、2～21日（通常は7日程度）で突然の発熱、疲労感、筋肉痛、頭痛、咽頭（のど）痛で発症します。それに引き続き、嘔吐、下痢、腎機能や肝機能の低下がみられ、進行すると全身に出血傾向がみられ死亡します。

この病気に対する確立された治療法やワクチンは今のところありません。

流行地域に近づかないことが重要です。動物に接触したり、動物の死体に近づかないでください。

